

平成29年度第4回中仙地域協議会会議録

平成29年11月 9日

中仙地域協議会

平成29年度第4回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 大仙市立地適正化計画について	3
(2) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について	5
■その他	10
(1) 支所各課所管の事務事業等について	10
(2) その他	11
■閉会	13
■署名	13

■日 時：平成29年11月9日（木曜日）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：10名

秋山 吉雄、伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 壽男、高橋 泉
高橋 強、佐々木 堅一、玉井 勝壽、三浦 和則、渡部 明美

■欠席委員：7名

熊谷 亮、佐々木 登代子、高橋 咲子、高橋 朝夫、高橋 トモ子
田口 馨、富岡 喜榮

■出席職員：9名

佐藤 吉一（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	草別 真紀子（市民サービス課長）
斎藤 秋彦（農林建設課長）	榊田 成悦（中仙公民館長）
富樫 真司（建設部都市管理課参事）	戸堀 圭喜（市民サービス課参事）
高橋 宗秀（建設部都市管理課技師）	
山信田 恭弘（地域活性化推進室主幹）	進藤 哲規（地域活性化推進室主席主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - (1) 大仙市立地適正化計画について
 - (2) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について
- 6 その他
 - (1) 支所各課所管の事務事業等について
 - (2) その他
- 7 閉会

(午後2時00分 開会)

○事務局(地域活性化推進室) 開会を宣言

○玉井勝壽中仙地域協議会長(以下「会長」と表記)

お疲れ様です。皆さん様々な行事にお忙しのことと思います。中仙地域で実施しています「なかせんポイント」についても、皆さんよりご協力をいただき進めておりますが、私も今日、初めてポイント交換をしてきました。たくさんポイントを貯めたつもりでしたが5ポイントでした。交換した手ぬぐいを見ながら「もう少し貯めればよかったな」と思っています。地域枠事業については、いろいろと審議し承認しているわけですが、事業の中身に触れる機会があまりない現状ですので、皆さんには今後ともご協力をお願いします。

本日の会議は本庁からの説明もあるようですので、皆さんのご意見をいただきながら進めて行きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○佐藤支所長(以下「支所長」と表記)

本日はご多用のところご出席いただきましてありがとうございます。本日の協議案件は建設部都市管理課より大仙市立地適正化計画の説明と、地域枠予算執行予定事業についてとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

7月の大雨災害の後、8月の全国花火競技大会の前にも24日の大雨災害と、大仙市としてもこれまでに経験のないくらいの被害を被りました。特に協和・南外・西仙北地域など西部地区の被害が大きく、ライフラインの確保や応急措置の必要性から災害復旧本部を立ち上げ、本格復旧に向け動いているところであります。中仙地域においても玉川の増水に対する避難体制等について避難所の開設やハザードマップ等の検討を要することが確認されております。9月には、秋田県内陸南部を震源とする震度5強の地震が発生し、神岡地域において大きな被害を受けております。また、全県500歳野球の開催中には台風18号が暴風とともに駆け抜けていきました。10月は何事もなく過ぎるかと思っておりましたが、秋の稔りフェアの終了と同時に台風21号・22号と連続して発生しました。幸い大きな被害はなく通り過ぎてくれましたけれども、災害対応とイベントを交互にこなしているような、慌しい毎日でございました。

最近の中仙支所管内の動きについてご報告いたしますと、10月14日、15日と第30回の全国ジャンボうさぎフェスティバルを開催しております。第30回を記念いたしまして、これまでフェスティバルに多大な貢献をしていただいた2名の方を功労者表彰しております。1名の方は本郷直樹さん、長年に渡り審査長としていただいております。もう1名、草薙忠造さんはうさぎ農家でございます、46年間に渡りジャンボうさぎを飼育されていまして、これまで8回チャンピオンうさぎを輩出しております。うさぎの品評会のほうですが、県内はもとより宮城県、福島県、栃木県、愛知県、長野県、香川県より69頭の出陳となりました。今年の寒暖差の激しい厳しい気象条件の影響もありまして、例

年より出陳頭数は少なくなりました。成績ですが、最も重いジャンボ級は体重10.4キロ、大曲の松井良助さんが出陳したけいこひめ号が名誉賞を受賞しております。また、11月4日、5日と中仙市民会館ドンパルにおいて中仙芸術文化祭が開催されております。たくさんの皆さんの芸術作品の展示と共に、芸術発表により出演者も観覧者も楽しい時間を共有されたことと思います。また、一昨日、日本赤十字社秋田県支部の創立130周年記念秋田赤十字大会において、本協議会の委員でもあります高橋トモ子さんが、中仙赤十字奉仕団委員長として7月の大雨災害での炊き出し活動や交流活動の体験発表をされております。日本赤十字社名誉副総裁の秋篠宮妃殿下が出席された中で素晴らしい発表とともに、中仙赤十字奉仕団としても日本赤十字社社長感謝状をいただいております。本当におめでとうございます。以上、報告といたします。委員の皆様には今後ともご助言いただきたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

あいさつ後、建設部都市管理課職員を紹介。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により玉井会長をお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は遠藤まき委員と三浦和則委員をお願いいたします。

次に次第5「協議」に移ります。「(1)大仙市立地適正化計画について」建設部都市管理課より説明をお願いします。

○富樫都市管理課参事（以下「都市管理課参事」と表記）

資料にもとづき説明。

○会長

ただいま都市管理課より説明がありました。ご質問、ご意見などございませんか。

私から初めに聞きたいのですが、図の青い線の区域は国から示されたということでしょうか。

○都市管理課参事

青い線を引いたのは大仙市になります。いわゆる立地適正化計画における区域は都市計

画区域とするというのが国で示された指針です。

○会長

市で引いたということですが、なぜ協和地域が入らないのでしょうか。

○都市管理課参事

基本的に都市計画区域の設定については、合併前の旧市町村が策定していた都市計画をそのまま合わせたものになります。なんとなく都市計画区域外という言い方をしますと仲間はずれのような認識があるかと思いますが、都市計画区域や先ほど申しました用途地域といったようなものは、なればなるほど規制が厳しくなっていきます。例えば、協和地域であれば100坪の土地に、いないとは思いますが100坪の家が建てられますし、何十階建ての家も建てられます。ただ、私が住んでいる大曲地域の須和町というところは第一種住居地域となっており、敷地が100坪あっても70坪までの家しか建てられません。面積についても決められています。規制がかかれば、家を建てるにしてもなかなか建てにくい。一方、規制のない南外地域や協和地域は、いろいろな建物が建てられる、建ててもらいたいところになります。仲間はずれではなく、逆に建物を建ててもらいたいところということです。

○会長

ほかにございませんか。

○佐々木堅一委員

要約すると少子化への対応で人口を集約するということだと思いますが、子育て施策をPRするなどして人口を増やすという考えも必要ではないかと思います。

○都市管理課参事

佐々木委員のおっしゃるとおりだと思います。子どもが増えたとしても、いわゆる生産人口と言いますが、大仙市に住んでそこでまた子どもを産み育てていけばというサイクルができていけばということだと思います。この立地適正化計画はどちらかと言えばハード的なものですが、佐々木委員のおっしゃるようなことも含めた形で策定していきたいと思っています。

○会長

ほかにございませんか。

○三浦和則委員

この計画は、今の状況を維持するための計画なののでしょうか。それとも、外から来る人を増やそうとする計画なののでしょうか。

○都市管理課参事

まず、最低でも維持はしたいと考えています。これとは別の計画であります人口ビジョンというものでは、まずはたくさんの人を移住定住させるようにしますが、やはり出て行ってしまわれる方もいるだろうと。このような状況の中で、最低でも現状は維持・持続できるような自治体でありたいと思っています。

○会長

ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、以上で「(1) 大仙市立地適正化計画について」を終わります。

次に移ります。「(2) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。それでは資料に基づきまして、担当課長より説明をお願いします。

○草別市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

斎藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

資料に基づき説明。

□実施類型Ⅰ型

1. 中仙地域桜保全事業

担当部署 市民サービス課

事業目的 八乙女公園、斉内川河川敷は毎年桜まつりが開催されるなど、中仙地域を代表する桜の名所として知られている。また、中仙地域には斉内川の桜並木、栗沢・大神成河川公園、十六沢城址緑地施設、東山ふれあいの森施設、ドンパン広場にも数多くの桜があり憩いの場となっている。しかしながら、毎年てんぐ巣病の発生が見られることから、中仙地域全域の継続的な事業実施が必要となっている。継続的に桜を保全していくことにより、景観維持、地域の関心を高め後世に残し伝えることを目的とする。

事業概要 八乙女公園をはじめとした中仙地域全域に分布する桜を保全するため、桜てんぐ巣病感染枝の除去などを行い、桜環境保全を図る。

○作業内容 てんぐ巣病感染枝の除去・支障枝の整枝及び枝処理

○実施時期 平成29年12月から平成30年3月

事業費 1,333,072円（賃金・借上料・手数料・消耗品費）

2. 「線刻千手観音等鏡像」リーフレット作成事業

担当部署 市民サービス課

事業目的 水神社の御神鏡である「線刻千手観音等鏡像」は、県内唯一の国宝であり、近年観光客から、道の駅をはじめ観光担当へのリーフレット等の問い合わせが増加している状況である。そのため、ドンパン節発祥の地と共に、中仙地域の観光PRを目的とする。

事業概要 ○「線刻千手観音等鏡像」リーフレット作成 5,000部

事業費 102,600円(印刷製本費)

□実施類型Ⅱ型

1. 小沼山山地内景観維持事業

申請団体 十六沢城址緑地公園を守る会(農林建設課)

事業目的 小沼神社は、十六沢城址緑地公園、鳥越の滝の間に位置し、東山ふれあいの森空間の中核をなす景観施設は重要な歴史資産である。また、近隣小中学校の歴史環境学習の場として活用されるなど地域の歴史文化教育拠点ともなっている。

小沼山山地内に位置する「小沼の修景池」は十六沢城址緑地公園を守る会の活動により通年管理がされているが、近年の異常気象等で周辺の杉の葉が多量に堆積し修景池の早急な対応が必要なことから、修景池堆積物除去作業を実施する。

事業概要 落葉が終わり、池の水位の低い時期に修景池の堆積物除去作業を実施する。十六沢城址緑地公園を守る会のボランティア活動の一環として行われるが、堆積物の集中する池の縁回りについては小型重機による除去作業を実施する。

○場 所 小沼神社修景池

○内 容 堆積物除去作業

○期 間 11月下旬(9日間)

事業費 679,320円(借上料・消耗品費)

○会長 ただいま「(2)平成29年度地域予算執行予定事業について」説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けしたいと思います。

初めに桜保全事業についてお願いします。

○伊藤悟委員

賃金が2種類計上されていますが、どちらかに統一できないのでしょうか。

○市民サービス課長

作業員の中には女性の方もいます。作業の内容によって賃金単価が変わりますので2種類の単価で積算しています。

○会長 ほかにございませんか。

この事業、地域全体的に行うのは初めてでしょうか。

○事務局 こちらは継続事業になります。

○佐々木堅一委員

斉内川の桜、鉄道の関係で伐採するという話ですが、どのようになるのでしょうか。

○農林建設課長

鉄橋近くの桜については11本ほど伐採の対象となっていて、間もなく伐採される予定です。新しい鉄橋を作るための作業ヤードのスペースを含めて11本はどうしても伐採しないといけないとのこと。作業期間は全部で10年ほどかかりますが、終了後、県より桜を植樹するスペースを作っていただくことになっています。

○佐々木堅一委員

角館で行った際には桜を伐採せずによせたということを聞いたことがあります。

○農林建設課長

今回伐採される11本のうち、10本は3メートル、樹齢100年クラスということで移植できない大きさですので、やむを得ず伐採となるようです。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

それでは次のリーフレット作成事業についてお願いします。

○遠藤まき委員

リーフレット5,000部とありますが、どこに置くのでしょうか。道の駅だけでしょうか。

○市民サービス課長

水神社と中仙支所、ドンパルと道の駅に5,000部と考えています。

○遠藤まき委員

リーフレットを欲しいという方が結構いるということでしたが、この部数で足りるのでしょうか。

○市民サービス課長

今回5,000部作成すると3年か4年は持つのかなと思っています。

○遠藤まき委員

中仙としては重要なものなので、もっともっとアピールしてほしいと思います。足りないのであればもっと作成してもいいのかなと思います。

○支所長

前回28年度に1000部作成して、どのくらいもつのかなと見ておりましたが、バスで来られる団体さんが多いとのことで、それであれば今回もっと多めにということで5,000部あればと考えています。PRも兼ねて置く場所も検討してみたいと思います。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

参考までに、仙北地域では地域枠予算でカレンダーを作成したようです。そこに地域の名所やイベント、お祭りが紹介されているようです。今すぐでなくても、このようなこともいいのではないかと思います。

ちなみに中仙では地域枠以外に観光関係でかけている予算はあるのですか。

○市民サービス課長

ポスターなどについてはそれぞれイベント毎に予算を持っていますがカレンダーは作成していません。

○支所長

後でカレンダーの件、調べてみます。

○会長 お願いします。県内唯一の国宝ですし、道の駅に行っても国宝があることを知らないお客さんが結構いるそうですので。

○高橋泉委員

このリーフレットを道の駅に置くのはすごく良いことだと思います。それと道の駅にいてよく聞かれるのはドンパン節の歌詞を知りたいということです。現在スタッフが歌詞を書いてご自由にお持ちくださいという形で配布しています。このリーフレット同様にドンパン節の歌詞も人気がありますので検討願えればと思います。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

それでは次に十六沢城址の事業についてお願いします。

○熊谷壽男委員

この堆積物は短期間のものですか。

○農林建設課長

守る会の方ができる範囲で除去しているようですが、全体としては今回初めて行うということで、何十年という堆積物ではないかと思えます。

○熊谷壽男委員

重機の費用に除去後の運搬費などは含まれているのでしょうか。

○農林建設課長

借上料69,200円の中に含まれています。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、事業の承認をいただきたいと思えます。

それでは「中仙地域桜保全事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「線刻千手観音等鏡像」リーフレット作成事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「小沼山山地内景観維持事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

ありがとうございます。今回協議いただいた事業について、全てご承認いただきました。以上で「平成29年度地域枠予算予算執行予定事業について」の審議を終わります。

次に次第6「その他」に移ります。

「(1) 支所各課所管の事務事業等について」ということで、各課長より事務事業の予定で
すとか、進捗状況等の説明があるようですので、よろしくをお願いします。

○支所長（地域活性化推進室）

市民サービス課長

農林建設課長

榊田中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

資料に基づき説明。

○会長 ただいま説明がありました。質問などございましたらお願いしたいと思います。

○熊谷壽男委員

ドンパン祭りの手ぬぐい、ドンパン娘で作った手ぬぐいの評判や配布状況はどうだった
でしょうか。

○市民サービス課長

確認して後ほどお答えいたします。

○佐々木堅一委員

新しい清水分館についてですが、避難所としての機能はもっているのでしょうか。

○中仙公民館長

避難所機能については審議会でもでましたが、生涯学習の場ということを先にとらえ、
現在の避難所である清水小学校があることから、現段階では公民館機能優先で進めていま
す。

○佐々木堅一委員

現在、個人で家を建てる場合、市の補助はあるのでしょうか。

○農林建設課長

先ほど説明しましたリフォームに対しては補助がありますが、新築についてはないよう
です。

○会長 ほかにございませんか。

○市民サービス課長

先ほどのドンパン祭りの手ぬぐいについてですが、おかげさまで1,000枚すべて配布しております。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、「支所各課所管の事務事業等について」を終わります。

次に「(2) その他」に移ります。委員のみなさんから何かございませんか。

○高橋強委員

最近、昔はなかったような災害が頻繁に起こるような状況ですが、私の住む鍵見内の場合、災害の際に避難路としての国道などが危ないといった状況もでてきています。その際どうすればいいのか、早急に検討いただけないでしょうか。

○市民サービス課長

現在、市では総合防災課を中心にハザードマップの改訂を行っています。今年度中には市内全戸配布できる予定です。地区ごとの特性については、自主防災組織の連絡協議会などで意見をうかがいながら進めていきたいと考えています。

○高橋強委員

今回、雨風が強すぎて、消防車の音などが聞こえなかったという話を聞きます。緊急時の連絡方法としてサイレンなどは設置できないでしょうか。

○市民サービス課長

そのような際、まずは自主防災組織の連絡網を活用できればと考えています。

○支所長

仙北地域などにはスピーカーがあってお知らせできるようになっていますが、中仙では山などもありなかなか難しい。南外も協和も同様ですが、その中での対応を考えますとFMはなびの活用というのが一つの方法としてあるのかなど。災害対応を主目的の一つとして作られたものですのでうまく活用していければと思います。

○遠藤まき委員

FMはなびですが、防災ラジオ、もう少し安くないでしょうか。安くなって全戸に渡るような状況が望ましいと思います。

1人暮らしには無償でということみたいですが、夜は若い人達がありますが日中お年寄りだけという家庭も結構あります。災害は時間を選びませんのでそのような方々にもラジオがいきわたるとというのが理想だと思います。

○熊谷壽男委員

この災害対応というのは大変な問題で、さきほど自主防災組織の連絡網という話がでましたが、たとえば夜中2時3時に安否確認の電話をするべきかどうか。それぞれの集落で事前に連絡方法などを話し合っておく必要があると思います。

○高橋強委員

市で予算化するといったことだけでなく、自主防衛するということで対応法に関するマニュアルのようなものがあればいいと思います。

○会長　すぐに結論がでるような問題ではありませんが、年度や予算に関わらず早急に対応してほしいという大方の意見ですので、検討いただければと思います。

ほかにございませんか。

○高橋泉委員

秋の稔りフェアについて、以前は大仙市役所の駐車場で開催し農産物や特産品を販売していましたが、現在ははなび通りでの軽トラ市ということで、通りに一列に並んでお客さんに回ってきてもらうという形で販売しています。これについて実際、お客さんの意見を聞いてみると、長い距離を歩いて、しかも重い農産物を持って移動するのは大変だという話を聞きます。本日は本庁の方がいらっしゃっていますが、他の地域協議会で同様の話はでなかったでしょうか。

○都市管理課参事

地域協議会ではそのような話はでなかったように思いますが、個人的には聞きます。しかし逆に普段中々歩くことのない商店街を歩くことができよかったという話も聞きました。

○高橋泉委員

花火通り商店街の活性化の意味も込めてということは聞いていますが、実際活性化に繋がっているのかについてはどのように思いますか。

○都市管理課参事

数量的に示せるかという難しいものになりますが、先ほど説明しましたようにせっかく大曲ヒカリオという施設がありますので、その有効利用を図りながら進めていかなければならないと考えています。

○高橋泉委員

先ほどの立地適正化と関連して、やはり中心地に集めるといったイメージが強いように

感じます。周りの地域が取り残されていくような。稔りフェアは大仙市の産業祭ですので、各地域持ち回りで行うとか、市全域を巻き込んで開催していくということが必要だと思います。

○会長　ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第6「その他」を終わります。

本日は、長時間にわたりご協議いただきまして誠にありがとうございました。これを持ちまして、平成29年度第4回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後3時56分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
